

溶接構造シンポジウム2002—「環境とものづくり」のための技術革新—

講演申込募集【申込締切：6月25日】

溶接構造シンポジウム2002 —「環境とものづくり」のための技術革新—

主 催：(社)溶接学会 溶接構造研究委員会

共 催：大阪大学

(工学研究科生産科学専攻、接合科学研究所)

協 賛：日本溶接協会、日本造船学会、日本機械学会、
日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本鋼構造協会、
日本金属学会、軽金属学会、日本建築学会、土
木学会、関西造船協会、日本材料強度学会、日
本複合材料学会、高分子学会、日本セラミック
ス協会、日本高圧力技術協会、日本原子力学会、
応用物理学会、腐食防食協会、日本非破壊検査
協会、軽金属溶接構造協会、摩擦圧接協会、日
本圧接協会、日本塑性加工学会、日本計算工学
会、型技術協会、高温学会（交渉中）

日 程：平成14年11月19日（火）、20日（水）

会 場：大阪大学銀杏会館（吹田キャンパス）
（〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2）

開催主旨：21世紀に入って「ものづくり」の重要性はますます高まりつつありますが、従来からの生産加工技術に加え、安心・安全な社会空間の創造、持続型製品設計、循環型生産などに対応すべく、さらなる技術革新が求められています。我が国の製造業の中心的役割を担ってきた溶接・接合技術においても、材料・設計・施工・検査とい

った要素技術の更なる発展とシステム化により、生産の空洞化の回避、低コスト化による国際競争力の向上、エネルギー・環境問題への対処など種々の問題に取り組んでいく必要があります。また、重厚長大のみならずエレクトロニクス実装などのミクロ領域においても、「つなぐ」という技術への高い信頼性が要求されています。このように大きく変化する社会情勢に対応するための溶接構造関連の研究動向を議論する場として、溶接構造シンポジウム2002を企画致しました。特別講演とホット・トークに加え、多岐の分野の技術者・研究者からの研究発表を広く募集致しますので、奮ってご参加下さい。

◆特別講演

『ロケットエンジンにおける接合技術の諸問題』

宇宙開発事業団 宇宙輸送システム本部

今野 彰 氏

『NEDO における燃料電池開発の状況—固体高分子型燃料電池開発の動向—』

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

西村 靖雄 氏

◆ホット・トーク（仮題を含む）

○超鉄鋼 Phase 2 の展開と課題

物質・材料研究機構 構造材料研究センター

長井 寿 氏

○建築・鉄骨製作における最近の動き

千葉工業大学工学部建築学科

山田 丈富 氏

○夢舞大橋（旋回式浮体橋）建設プロジェクト

日立造船（株）鉄構・建機事業本部

田中 洋 氏

○鉛フリーはんだ接合部の信頼性設計における応力解析技術

（株）東芝 研究開発センター

向井 稔 氏

○金属材料(接合部)の微生物による腐食劣化と抗菌化の目的

大阪大学接合科学研究所

菊地 靖志 氏

○最近の摩擦撹拌接合(FSW)の開発・適用状況と今後の動向

（株）日立製作所 日立研究所

岡村 久宣 氏

◆一般セッション（講演時間20分(予定, 討論5分を含む)）

- (1)高強度鋼の利用技術
- (2)鋼構造の設計・施工
- (3)ロケット開発における高信頼性技術と低コスト化
- (4)静的／動的強度と破壊
- (5)疲労強度特性とその向上策
- (6)溶接変形予測と工作精度管理
- (7)溶接残留応力評価と制御
- (8)特殊環境下での溶接・接合
- (9)異材接合体・接着継手の強度評価
- (10)皮膜・薄膜の特性評価
- (11)電子デバイス実装・パッケージングの信頼性評価
- (12)インターフェイスメカニクス
- (13)材料のナノ・マイクロメカニクス
- (14)非破壊検査による溶接・接合部の信頼性診断
- (15)ステンレス鋼の構造設計分野への新展開
- (16)新素材の構造物への適用と評価
- (17)応力腐食，経年劣化と余寿命診断
- (18)環境調和型設計とライフサイクルアセスメント
- (19)その他

◆講演論文の募集

- (1)次の二つの分類で公募し，A4サイズのオフセット印刷により講演論文集を印刷致します。
分類Ⅰ(4ページ以内)：研究発表的/速報的な性格のもの。
分類Ⅱ(8ページ以内)：論文発表的な性格のもので，溶接学会論文集に“論文”として直接投稿できることを考慮しています。
- (2)発表内容は原則として未発表のものが望ましいですが，必ずしもこの限りではありません。

(3)会員・非会員を問わず，広く募集・受理致します。

(4)講演論文は，分類Ⅰ，Ⅱにかかわらずオリジナル論文表彰を行います。

◆講演論文の申込要領

- a)著者名（講演者に○）および所属（略記）
 - b)代表者通信先（氏名，住所，所属，TEL，FAX，E-mail）
 - c)論文題目
 - d)論文概要（100字～200字程度）
 - e)関連のトピック番号（上記の(1)～(19)から複数回答可）もしくはキーワード
 - f)論文の分類（ⅠまたはⅡ）
 - g)分類Ⅱの場合，溶接学会論文集への直接投稿希望の有無を下記申込先までFAX，E-mail 等でお送り下さい。
- 後日，執筆要領と案内状をお送り致します。

◆申込締切日

講演申込締切：平成14年6月25日（火）

原稿提出締切：平成14年9月25日（月）

◆シンポジウム参加登録料（講演論文集を含む）

溶接構造研究委員会委員

（委員所属会社からの参加者も含む）：15,000円

オーガナイザーおよびその紹介者：15,000円

溶接学会会員・協賛学協会会員：20,000円

学 生：5,000円

その他：25,000円

（学生の聴講のみは無料，その場合に講演論文集は実費(5,000円)にて頒布）

◆会場案内

JR「新大阪」より北大阪急行「千里中央」経由で大阪モノレール利用，阪急電車「(大阪)梅田」より千里線「北千里」下車で徒歩，詳細は大阪大学のホームページを参照下さい。

<http://www.osaka-u.ac.jp/annai/campus/access2.html>

<http://www.osaka-u.ac.jp/annai/campus/suita.html>

◆シンポジウム実行委員会

委員長：南二三吉（阪大）

副委員長：村川英一（阪大），大澤守彦（日立造船）

幹 事：高野直樹（阪大），望月正人（阪大）

◆申込先および問合せ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学 大学院工学研究科 生産科学専攻

溶接構造シンポジウム2002幹事

高野 直樹

TEL. 06-6879-7564, FAX. 06-6879-7570

E-mail: takano@mapse.eng.osaka-u.ac.jp